

『上野地区まちづくりビジョン』の策定について

資料 1

都市づくり部
都市計画課

1 策定の背景と目的

- 上野地区は、都の「都市計画区域マスタープラン」において、政治・経済・文化の中核として「センター・コア再生ゾーン」に区分され、文化、観光の拠点となる副都心を形成することとされている。
- また平成29年には「東京の都市づくりグランドデザイン」が策定され、拠点形成においては地域の個性やポテンシャルを最大限発揮し、競い合いながら新たな価値を創造することが求められている。
- 一方、都心部や周辺地域における再開発等が進む中、同地区の拠点性の相対的な低下や、市街地の更新が課題となっている。
- そのため地元主体の計画的かつ一体的なまちづくりを推進するため、まちづくりの方向性を示す「上野地区まちづくりビジョン」を策定する。



計画目標

本ビジョンは、東京都が2017年に策定した「東京の都市づくりグランドデザイン」と同様に、現在より概ね20年後の状況を想定し、**2040年代頃**の将来イメージを目標とする。

2017～18年度 (H29～30年度) 2019年度 (H31年度)

ビジョンの
検討

ビジョン
策定

実現に向けた
取り組み

2040年代頃
ビジョンに示す
将来イメージの
実現

3 検討体制

上野地区まちづくりビジョン策定委員会

目的： 台東区が公表・策定するビジョンに関する意見交換、方向性の共有
周辺のまちづくり、基盤整備等に関する情報の共有

メンバー

- (座長) 学識経験を有する者
- (委員) 学識経験を有する者、まちづくり協議会、町会連合会、商店街、観光団体、交通事業者、台東区
- (オブザーバー) 国土交通省都市局、東京都都市整備局、公共施設管理者、UR都市機構(事務局) 台東区都市計画課、まちづくり推進課

基盤整備部会

目的： 都市基盤整備等の方針検討
基盤整備の推進に関する調整

メンバー

- (座長) 学識経験を有する者
- (部会員) 学識経験を有する者、交通事業者、公共施設管理者、台東区
- (事務局) 台東区都市計画課

まちづくり部会

目的： まちづくりの方針検討
まちづくりの推進に関する調整

メンバー

- (座長) 学識経験を有する者
- (部会員) 学識経験を有する者、まちづくり協議会、町会連合会、商店街、観光団体、台東区
- (事務局) 台東区まちづくり推進課

2 これまでの経緯

- 地元や関係事業者等の意向把握・機運醸成、及びまちの課題・特性の把握のため、「副都心上野まちづくり協議会の活動支援(H27年度～)」、「上野駅周辺まちづくり推進方策検討調査(H28年度)」、「上野地区まちづくり基礎調査(H28年度)」を実施。

副都心上野まちづくり
協議会の活動支援
(H27年度～)

- 相談員派遣等による、地元主体の将来像の検討支援・機運醸成
- H28年度末に区に中間提言書を提出
- H29年度末に区に最終提言書を提出予定

上野駅周辺まちづくり
推進方策検討調査
(H28年度)

- 上野地区における開発誘導方策の検討
- 「上野地区まちづくりビジョン策定委員会」の立上げに向けた関係者との協議・機運醸成

上野地区まちづくり
基礎調査
(H28年度)

- 「上野地区まちづくりビジョン」の策定を見据えた、まちの歴史・基礎情報等の整理

4 スケジュール

